

# みやまの風



令和5年6月1日(木)発行

園長 津田 将美

幼稚園HPのQRコードです！

## 土と友だち

春を感じさせてくれる気持ちのいい日差しから、汗ばむような夏の強い日差しへと少しずつ変わってきました。額に汗を光らせながらも、子どもたちの笑顔は一層明るく、園の雰囲気を活気あるものにしてれています。

木々の葉ずれの音や小鳥のさえずりが耳を楽しませてくれる中、園では栽培活動や生き物とふれあう活動が本格的になってきました。

「さあ、おいもを植えるけど、どっちを上にしたらいいかな？」

幼稚園では、運転手さんが畑の先生でもあります。先生といってもすべてを教えてくれるわけではなくて、子どもたちに考えさせるために、投げかけ方もいろいろと工夫をしてくれています。

「こっちから芽が出てくるから、こっちを上じゃない？」

子どもたちは、おいも(さといも)の形をじっくりと見て考えます。

「そうだね、おいもさんが苦労しないようにやさしく植えてください。」

「は～い。」

子どもたちが、いよいよおいもを植え始めます。

「ええと、こっち向きかな・・・」

「土をやさしくかけて・・・」

単にものとしてではなく、おいもの中の命の存在を感じさせたことで、子どもたちは「生きていること」を実感しながらおいもを植えていきました。

「さあ、水をあげよう。」

一人ひとりがもってきたジョーロはとても小さいものでした。いっぱいにしてもすぐに水が終わってしまうので、何度も何度も汲みにいかなくてもなりません。でもその足を運ぶ回数が、「いのち」に向き合う心を積み上げていくのだと感じました。

おいしいおいもが、できるといいです。



## 幼稚園評議員会

5月18日(木)に、幼稚園評議員会が開催されました。今年度も2名の評議員さんにご来園いただき、園の経営方針を説明しながらご意見を伺いました。その後、園児の様子を参観していただきました。評議員さんからいただいた主なご意見等は、以下の通りです。

- ・コロナ禍でなかなか子どもたちの名前を覚えられなかったが、これからはたくさん来園して子どもたちの名前を覚えたい。
  - ・四季折々の豊かな自然の変化を大切にしながら、生命尊重の心を育ててほしい。
  - ・失敗を恐れずに、子どもたちの思いを大切にいろいろな活動に挑戦してほしい。
- いただいたご意見を、今後の園運営に生かしていきたいと思っております。

## カエルになったよ!

子どもたちが中津川から連れてきた、おたまじゃくしに足がはえてきました。

「もうすぐカエルさんになるね。」  
なんて話していたのもつかの間、週明けには、前後の足がそろってほとんどカエルになったものが増えてきました。

それを見た子どもたちは、大喜びですぐに新しい環境を整えだしました。図鑑を調べ、住みやすいおうちにしていこうとする姿勢は正に「いのち」と向き合う姿、そのものでした。

経験は豊かな心とやさしさを育てていきます。

